

千葉大学 環境リモートセンシング研究センター 寄附研究部門
公開シンポジウム —地球温暖化現象の解明・対策・適応への挑戦—

環境リモートセンシング研究センター(CEReS)では、地球温暖化寄附研究部門を設置しました。公開シンポジウムでは「地球温暖化の未来にむけて」、現象解明、その対応、適応、処方等を話題とします。温暖化による環境への影響による現象の解明と適応、利用等を、今後、2～5年間で取り組む具体的な課題を提案、検討します。

日時：平成21年6月15日（月） 13:00～17:30
場所：千葉大学 西千葉キャンパス けやき会館 3階・レセプションホール

講演プログラム

- 13:00-13:10 趣旨説明
久世 宏明 (CEReS 教授)
- 13:10-13:20 地球温暖化寄附研究部門に期待すること
野波 健蔵 (千葉大学 理事)
- 13:20-13:45 講演(01) 温暖化による北極海航路の開拓とその意義
石橋 博良 (CEReS 客員教授)
- 13:45-14:10 講演(02) ロシア北極海航路の歴史と将来
Leonid Mitnik (ロシア科学院太平洋海洋研究所 部長)
- 14:10-14:30 講演(03) マイクロ波リモートセンシングの路面凍結モニタリングへの応用
長 康平 (CEReS 助教)
- 14:30-14:50 講演(04) 高速道路雪氷管理の将来展望
加藤 寛之 (西日本高速道路株式会社)
- 14:50-15:10 講演(05) 黄砂の発生・輸送過程と地球温暖化
常松 展充 (CEReS 客員准教授)
- 15:10-15:30 講演(06) タクラマカン砂漠に浮遊する黄砂総量の推定と気候への影響
甲斐 憲次 (名古屋大学大学院環境学研究科 教授)
- 15:30-15:40 休憩
- 15:40-16:00 講演(07) One To One 型プラットフォームの開発
近藤 昭彦 (CEReS 教授)
- 16:00-16:20 講演(08) 地球温暖化診断用 CP-SAR 搭載小型衛星の開発
Josaphat Tetuko sri Sumantyo (CEReS 准教授)
- 16:20-16:40 講演(09) 赤外センサ搭載超小型衛星によるCO₂「感測」の取り組み
山本 雅也 (株式会社ウェザーニューズ)・久世 宏明
- 16:40-17:00 講演(10) 静止気象衛星による放射収支の推定 -観測による気候変動の解明へ向けて-
高村 民雄 (CEReS 教授)
- 17:00-17:30 パネル討論
西尾 文彦 (CEReS センター長)、石橋 博良、ほか
- 18:00- 懇親会 (1階「コルサ」にて)